



新座中だより

令和3年度 2月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号
電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

あいさつは自分から

校長 高橋 利明

今日は特に生徒たちに向け、「あいさつ」について、お話ししたいと思います。

他校を訪れた時、きちんと「こんにちは」とあいさつをされると気持ちがよいものですが、本校ではどうでしょうか？

ある学校を訪れた時、ちょうど下校時刻で、数名の生徒が私の前をおしゃべりしながら通り過ぎて行きました。しばらくするとその中の一人が走って戻り、私の前まで来ると、ペコリとお辞儀をして「さようなら」とあいさつをするとまた駆けていきました。

おしゃべりに夢中になっていて、訪問者である私にあいさつするのを忘れたことに気が付き、戻ってきたのです。すごく感動したことを覚えています。

秋に部活動が再開されてから、朝、正門付近に立って、朝練習に来る皆さんを朝練が禁止となる、この1月中旬まで「おはようございます」というあいさつで迎えていました。

その時の皆さんの対応は、およそ三つに分けられるでしょう。「おはようございます」と自分から元気に声をかけてくれる人、私の「おはようございます」という声に対して、恥ずかし

そうに小さな声で応えてくれる人(コロナ禍なので小さな声かもしれませんね)、黙って私の前を通り過ぎて行く人です。早く全員がさわやかな声で進んであいさつしてくれるといいなと私は思っています。

ケンカの後も次の日の朝の「おはよう」という一言で、自然と仲直りが出来ることも多いと思います。逆に、あいさつをしたのに無視されると、とても悲しい気持ちになるのは誰でも同じでしょう。

日本では、古来より、ものの始まり、最初を大切にしてきました。一年の最初のお正月は盛大にお祝いしますし、季節の初めの日は、立春とか立夏などといって特別な日になっています。

一日の初めは朝で、あいさつから始まりです。「おはようございます」という声で一日をスタートしたいものです。よく気持ちが大切だと言いますが、気持ち(心)は目に見えませんが形や声で表してほしいと思います。そして、あいさつはさわやかに自分から進んでほしいと思います。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」